

第13章 事後調査の実施に関する事項

予測及び評価を行った環境要素について、予測の不確実性の程度が大きいかな否か検討を行い、事後調査項目を選定した。選定した事後調査項目及び選定した理由または選定しなかった理由を表 13.1-1 に示す。また、事後調査の内容は、表 13.1-2 に示すとおりである。

表 13.1-1 (1) 事後調査項目の選定結果

環境要素	選定した理由または選定しなかった理由	
温室効果ガス・エネルギー	○	【供用】 施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。一方、アリーナ棟について、開業後の運用による環境負荷削減に積極的に取り組み、その評価について第三者認証である「A Greener Arena」の認証取得を目指していることから、その状況を報告することを目的に、項目として選定する。
廃棄物等	×	【工事】 工事計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。また、工事の実施に当たっては、関係法令等に基づき、廃棄物の発生抑制・減量化・リサイクル等について適正な措置を講じる計画であることから、項目として選定しない。
	×	【供用】 施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。また、地域における廃棄物の処理体制に支障をきたさないと予測していることから、項目として選定しない。
大気汚染	×	【工事】 建設機械の稼働、工事用車両の走行については、影響が最大になると想定される場合の予測を行っており、影響がこれを超える可能性は小さいと考えられることから、項目として選定しない。
	×	【供用】 駐車場の利用、施設関連車両の走行については、施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられることから、項目として選定しない。
悪臭	×	【工事・供用】 工事計画及び施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。また、工事中、供用後ともに「悪臭防止法」に定める悪臭物質等は使用しないことなどから、項目として選定しない。
ヒートアイランド現象	×	【存在・供用】 施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられることから、項目として選定しない。
水質汚濁	×	【工事】 工事計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられることから、項目として選定しない。
土壌汚染	×	【工事】 工事計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。なお、用地①-a の特定範囲における掘削工事に際しては、土壌汚染に及ぼす影響を考慮する必要があるが、今後、土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査及びその結果に応じた適切な措置を行う計画であることから、項目として選定しない。

表 13.1-1 (2) 事後調査項目の選定結果

環境要素	選定した理由または選定しなかった理由	
騒音	○	【工事】 建設機械の稼働、工事用車両の走行については、影響が最大になると想定される場合の予測を行っており、影響がこれを超える可能性は小さいと考えられる。しかし、建設機械の稼働に伴う騒音による近隣のマンション等への影響を考慮し、項目として選定する。
	○	【供用】 施設の供用、施設関連車両の走行については、施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。しかし、施設の供用に伴う騒音による近隣のマンション等への影響を考慮し、項目として選定する。
振動	○	【工事】 建設機械の稼働、工事用車両の走行については、影響が最大になると想定される場合の予測を行っており、影響がこれを超える可能性は小さいと考えられる。しかし、建設機械の稼働に伴う振動による近隣のマンション等への影響を考慮し、項目として選定する。
	○	【供用】 施設の供用、施設関連車両の走行については、施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。しかし、施設の供用に伴う振動による近隣のマンション等への影響を考慮し、項目として選定する。
低周波音	×	【供用】 施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられることから、項目として選定しない。
動植物生態系	×	【工事・存在・供用】 工事計画及び施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。また、事業による影響は軽微であると予測していることから、項目として選定しない。
緑化	○	【存在】 施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。一方、維持管理及びモニタリング計画について、今後認証取得を目指している「自然共生サイト」及び「ABINC 認証」の中で策定していく計画とすることから、その認証取得の状況を報告することを目的に、項目として選定する。
人と自然とのふれ合いの場	×	【工事・存在】 工事計画及び施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられることから、項目として選定しない。
景観	○	【存在】 施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。また、計画建物の外観・色彩等の詳細については、吹田市まちづくり計画、吹田市景観まちづくり条例に基づき、関係機関等との協議を行い決定する計画である。しかし、景観への配慮にあたっては、近隣マンション等への影響が懸念されることから、事業者として最大限の対応を行ってきたところではあるが、実際の状況を報告することを目的に、項目として選定する。
日照阻害	×	【存在】 施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられることから、項目として選定しない。

表 13.1-1 (3) 事後調査項目の選定結果

環境要素	選定した理由または選定しなかった理由	
テレビ受信障害	×	【存在】 テレビ電波の受信障害が発生した場合は、適切な措置を講じることとしていることから、項目として選定しない。
風害	×	【存在】 施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられることから、項目として選定しない。
防災・安全	○	【存在・供用】 施設計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。一方、今後、吹田市と地域の防災力を向上させる先進的な取組について協議し、協定書にて規定する計画としていること、また自然文化園や市立吹田サッカースタジアム、エキスポシティなど、周辺施設との防災連携体制をとって適切な避難誘導を実施する計画としていることから、その状況を報告することを目的に、項目として選定する。
コミュニティ	×	【工事・供用】 工事計画に基づく予測を行っており、予測の不確実性の程度は小さいと考えられる。また、児童・生徒数については、事業の進捗を踏まえ、更新される推計も注視しながら関係機関との継続協議を実施することから、項目として選定しない。
交通混雑	×	【工事】 工事用車両の走行については、影響が最大になると想定される場合の予測を行っており、影響がこれを超える可能性は小さいと考えられることから、項目として選定しない。
	○	【供用】 施設関連車両の走行については、交通計画に基づく予測を行っているが、事業計画地周辺における現況の交通問題や交通状況の変化も想定され、また予測の不確実性の懸念もあることから、項目として選定する。
交通安全	×	【工事・供用】 工事用車両及び施設関連車両の主要な走行ルートにおいては、歩行者と自動車の交通が分離されている。また、歩行者・自転車と車両の交錯においては安全対策を実施するため事業による著しい影響はないと予測しており、不確実性は小さいと考えられることから、項目として選定しない。
交通対策	○	【供用】 「交通混雑」及び「交通安全」で実施するとした交通対策のうち、施設供用後のソフト対策について、実施状況及びその効果を報告する。

表 13.1-2 事後調査の内容

調査項目			調査範囲・地点	調査時期	調査方法
工事中 供用後	騒音・振動	・騒音レベル ・振動レベル	事業計画地 敷地境界	I 期工事の ピーク時期 (1 回)	JIS 等に定める 測定方法に基づ き調査する。
	温室効果ガス・ エネルギー	・エネルギー使用量 ・二酸化炭素排出量	事業計画地 (アリーナ棟)	施設供用後 (I 期事業開 業後～IV 期事 業開業まで)	記録台帳の整理 等により確認す る。
	騒音・振動	・騒音レベル ・振動レベル	事業計画地周辺	施設供用後 (I 期事業開 業後) の 適切な時期	JIS 等に定める 測定方法に基づ き調査する。
	緑化	・「自然共生サイト」及 び「ABINC 認証」の 認証取得状況	事業計画地	施設供用後の 適切な時期	認証取得状況に ついて、関係者へ のヒアリングに より確認する。
	景観	・景観の状況	事業計画地及び その周辺	施設供用後の 適切な時期	代表的な眺望点 から、景観写真の 撮影を行う。
	防災・安全	・吹田市との防災に関 する協定内容 ・周辺施設との防災連 携体制	事業計画地及び その周辺	施設供用後の 適切な時期	吹田市との防災 に関する協定内 容及び周辺施設 との防災連携体 制について、関係 者へのヒアリン グにより確認す る。
	交通混雑	・自動車交通量 ・自動車渋滞長・滞留長 ・歩行者・自転車通行量	事業計画地内及 び事業計画地周 辺における施設 関連車両の主要 走行ルート交差 点など	施設供用後 (I 期事業開 業後) の ・通常の休日 ＋アリーナ 稼働日 ・スタジアム 休日試合日 ＋アリーナ 稼働日	ハンドカウンタ ー及び目視によ り計測する。
	交通対策	・公共交通機関の利用 の促進状況 ・生活道路への進入防 止の状況 ・交通ソフト対策を実 行する専門組織の状 況 ・人流誘導の状況 ・ペDESTリアンデッ キの安全対策の状況	事業計画地内及 び事業計画地周 辺	施設供用後 (I 期事業開 業後) の 適切な時期	目視及び関係者 へのヒアリング により確認する。